



「安曇野の夏」
土屋 香蓮さん／埼玉県・6年生



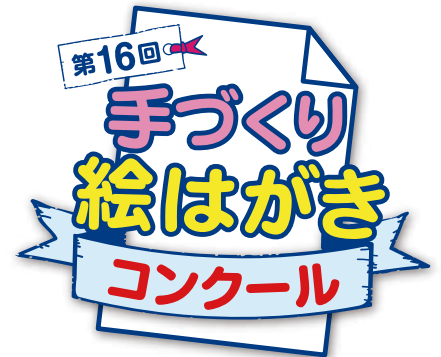
個人の部
最優秀賞

土屋 香蓮さんの受賞の言葉

まず、この手づくり絵はがきコンクールで最優秀賞を頂いた事を、信じられないほどうれしく思っています。この絵には、「安曇野の夏」という題名を付けました。なぜこの題名にしたかというと、私の父の実家が安曇野で、その風景を描いたからです。作る時には、紙をすく作業が一番きん張りました。でも、枠を外したとききれいな形になっていて安心しました。乾燥して完成するのが待ち遠しかったです。次に絵を描いている時には、安曇野の夏が表現できるようにがんばりました。そのために入道雲をモコモコにしたりしました。中でもこだわったのは、色ぬりです。空は深い青と薄い青でぬり分け、草や葉などは夏の強い日差しに当たって青々としているきれいな色にできるよう、工夫しました。自分でも夏の情景を表すことができ、満足できる絵になったと思います。この賞を頂いた事で、小学校生活の良い思い出になりました。ありがとうございました。

1,725名の小学生が挑戦!! 思い出とともに、紙リサイクルへの意識を 高める体験となりました。

牛乳パックをリサイクルして紙をつくる。
その紙をはがきにし、「夏の思い出」を描く。
日本製紙連合会がそんなコンクールをはじめて16年。
これまで3万人の小学生がチャレンジしてきました。
牛乳パックがはがきに生まれ変わるという“驚き”と、
試行錯誤しながら1枚の絵はがきに仕上げた“達成感”が、
ひと夏の思い出とともに
いつまでも子どもたちの心に残ってくれることを願っています。



受賞者発表

個人の部 優秀賞



1年生 「あさがおがさいたよ」
森 明日香さん／福岡県



2年生 「おばあちゃんちでお手つだい」
佐伯 悠さん／埼玉県



3年生 「夏はやっぱりクワガタだね」
増田 瑛太さん／岡山県



4年生 「夏の思い出2019」
川井 蓮月さん／埼玉県



5年生 「風りん」
浅野 慶多さん／岡山県



6年生 「こんがりあちっ」
岩本 武琉さん／和歌山県



団体の部
最優秀賞

最優秀賞受賞 蒲郡市立竹島小学校の皆さん

蒲郡市立竹島小学校・内田李江子先生の受賞の言葉

3年連続で「最優秀賞」を受賞することができ、たいへんありがたく思います。今年度は、初めて全校生徒で「手づくり絵はがきコンクール」に挑戦することができました。本校では、4年前から図工の授業で、はがき作りを行っています。はがき作りを始めたころは、紙漉きの仕方がよくわからず、凸凹しているうえに、すぐに割れてしまうはがきでした。絵を描くにも描きづらく、思うように描けなくて悲しい思いをする子もいました。もっと美しく丈夫なはがきを作る方法はないかと考え、試行

錯誤を重ねた結果、今年度は昨年度よりさらに美しいはがきを作ることができました。子どもたちは、牛乳パックからパルプを作り出し、紙漉きをして作ったはがきを用いて「世界に一つだけの作品」を作ることができました。この体験を通して、リサイクルの仕組みを理解し、関心を持ってくれたのではないかと思います。